



令和元年10月12日
仙台管区気象台

宮城県と福島県に大雨特別警報を発表

宮城県の東部仙南、及び福島県の広い範囲に大雨特別警報を発表しました。特別警報を発表した市町村では、これまでに経験したことのないような大雨となっています。

特に土砂災害警戒区域や浸水想定区域などでは、土砂崩れや浸水による何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、直ちに命を守るために最善を尽くす必要のある警戒レベル5に相当する状況です。

また、普段災害が起きないと思われるような場所でも最大級の警戒が必要です。(別添参照)

なお、本資料については仙台管区気象台のホームページの新着情報に掲載しましたので以下のURLからご覧ください。

<仙台管区気象台ホームページ>

<https://www.jma-net.go.jp/sendai/index.html>

問合せ先：気象防災部 予報課 電話 022-297-8103

【警戒レベル5相当情報】

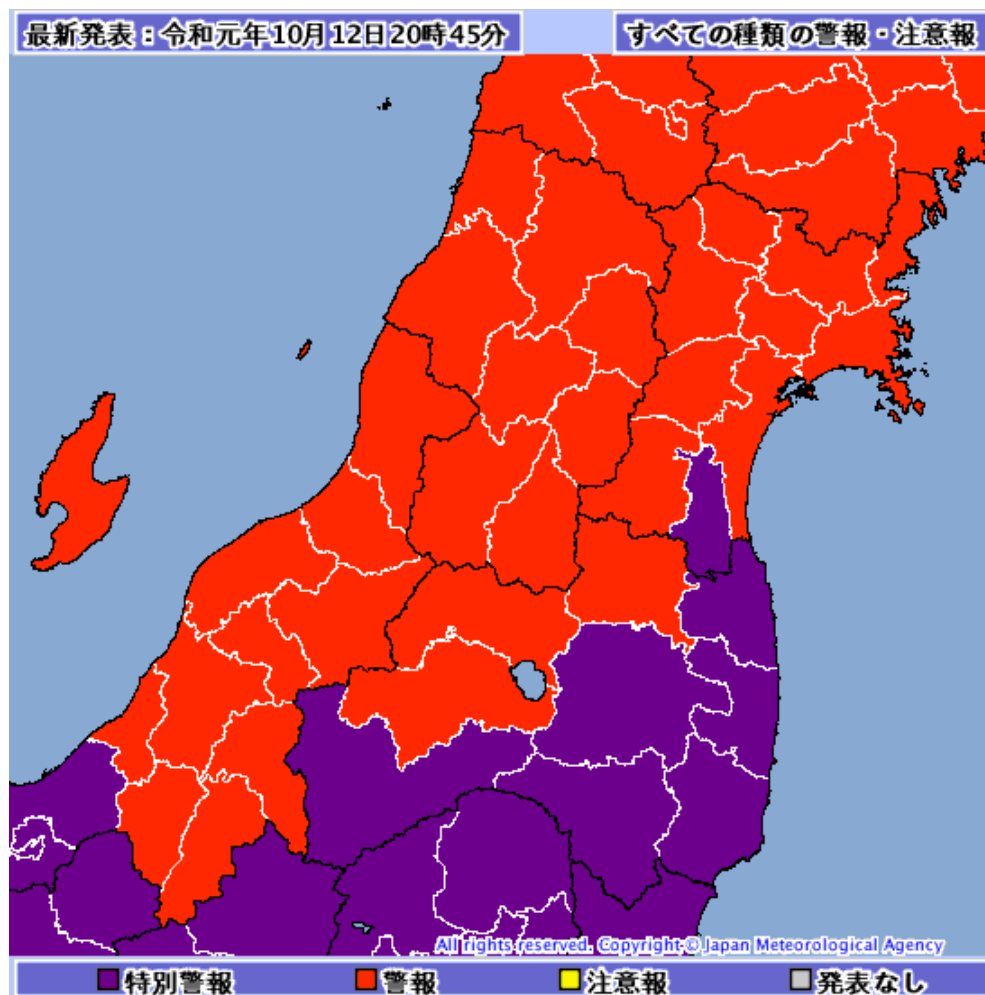
宮城県と福島県に大雨特別警報発表

- 宮城県の東部仙南、及び福島県の広い範囲に大雨特別警報を発表しました。特別警報を発表した市町村では、これまでに経験したことのないような大雨となっています。
- 特に土砂災害警戒区域や浸水想定区域などでは、土砂崩れや浸水による何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、直ちに命を守るために最善を尽くす必要のある警戒レベル5に相当する状況です。
 - ※ あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、崖や川から少しでも離れた、近くの頑丈な建物に避難するなど、安全を確保することが重要です。それすら危険な場合には、山と反対側の二階以上の部屋に退避するなど、少しでも命が助かる可能性の高い行動をとることが重要です。
- また、普段災害が起きないと思われるような場所でも最大級の警戒が必要です。
- 今後、他の市町村にも大雨特別警報を発表する可能性があります。台風の接近とともに今後さらに風雨が強まります。自分の命、大切な人の命を守るため、特別警報の発表を待つことなく、地元市町村からすでに発令されている避難勧告等(警戒レベル4)に直ちに従い緊急に避難してください。
- 現在夜間であることから、避難する際には周囲の状況を十分に確認してください。
- 今いる場所の災害発生の危険度を気象庁HP等の「危険度分布」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象庁HP：<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

特別警報・警報の発表状況

10月12日
21時時点の資料

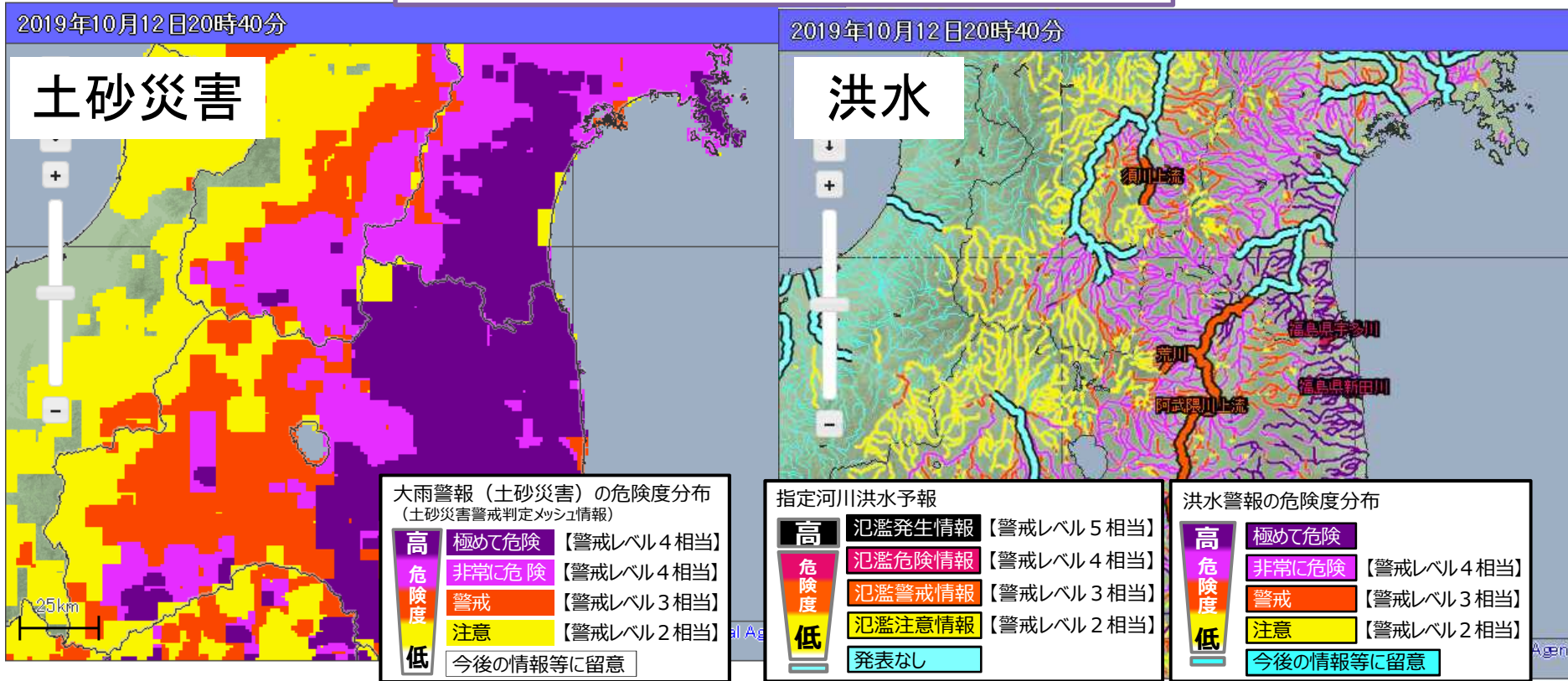


特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「危険度分布」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>)

危険度分布

10月12日
21時時点の資料

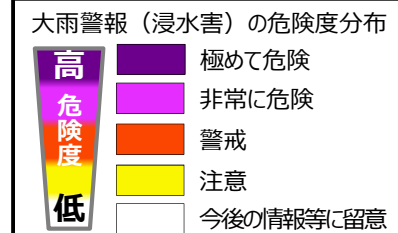
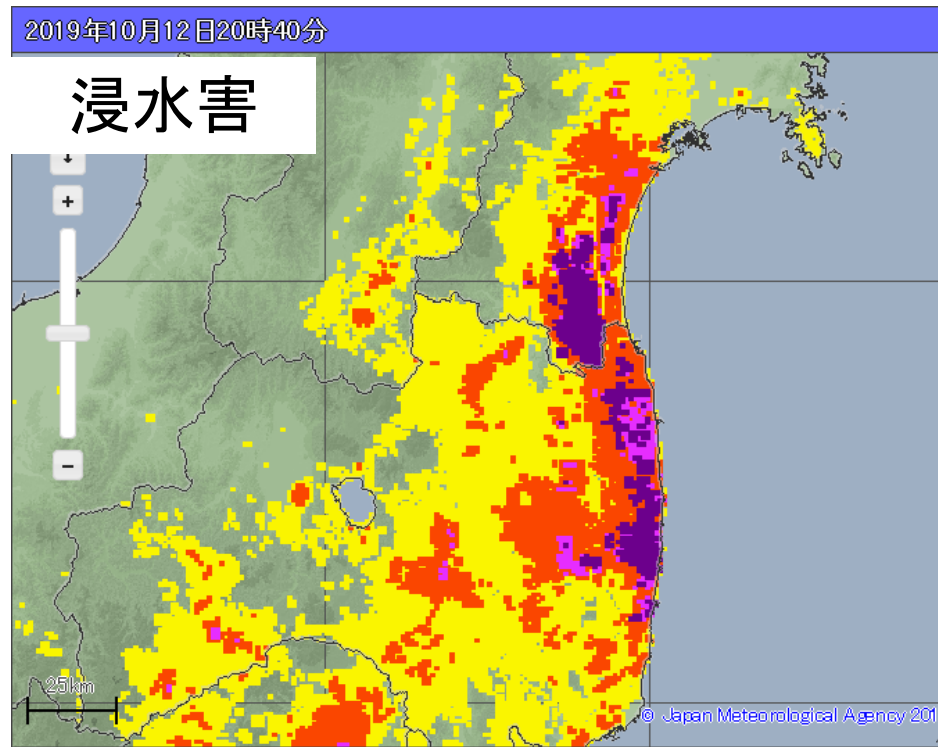


- 危険度分布において、5段階に色分けされたうち、最大の危険度（濃い紫）となっている場所では、土砂崩れや浸水により、すでに避難が困難となっているおそれがあります。
- 上から2段階目の危険度（うす紫）となっている場所では、災害が切迫し、避難が必要とされる警戒レベル4に相当する状況です。
- これらの場所において、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等からまだ避難できていない方は、直ちに避難の判断をしてください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の气象台が発表した気象情報をご利用ください。
（危険度分布：<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>）

危険度分布

10月12日
21時時点の資料

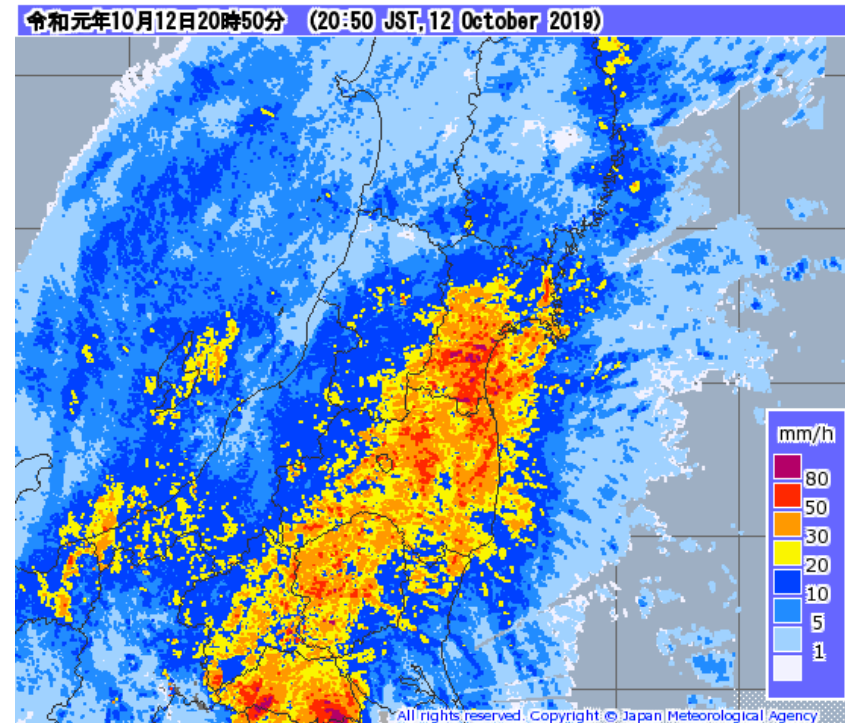
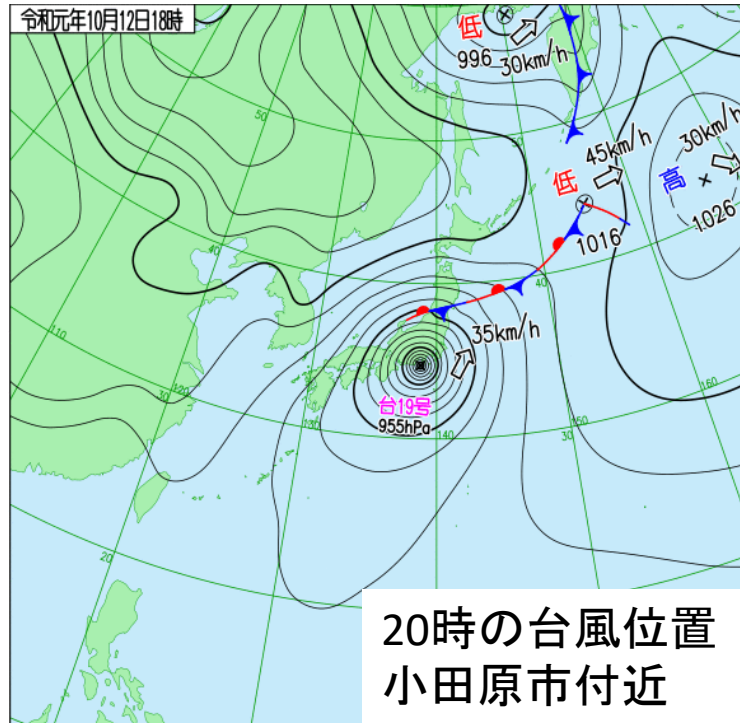


- 危険度分布において、5段階に色分けされたうち、**最大の危険度（濃い紫）**となっている場所では、土砂崩れや浸水により、すでに避難が困難となっているおそれがあります。
- **上から2段階目の危険度（うす紫）**となっている場所では、災害が切迫し、避難が必要とされる警戒レベル4に相当する状況です。
- これらの場所において、**土砂災害警戒区域や浸水想定区域等**からまだ避難できていない方は、直ちに避難の判断をしてください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(危険度分布：<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>)

気象実況

10月12日
21時時点の資料



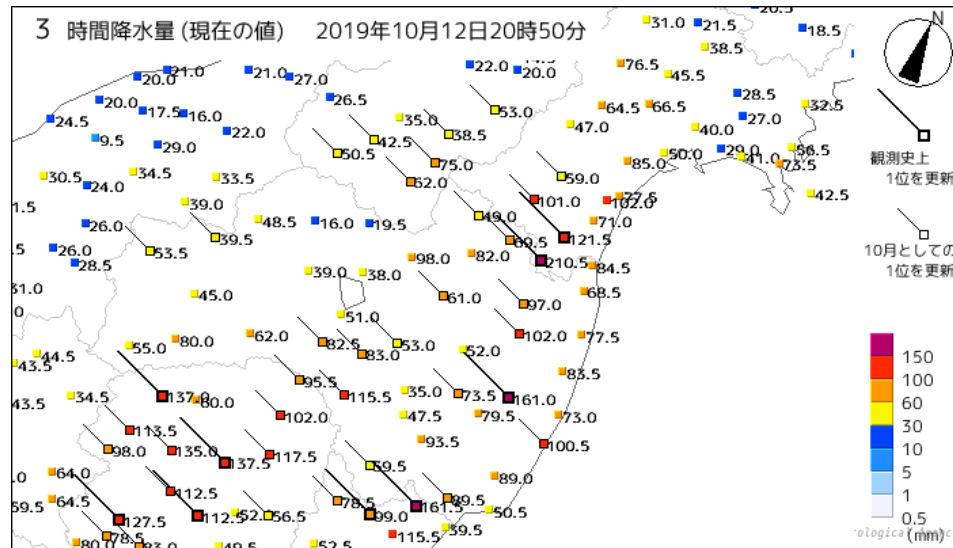
10月12日18時
地上天気図

雨雲の様子

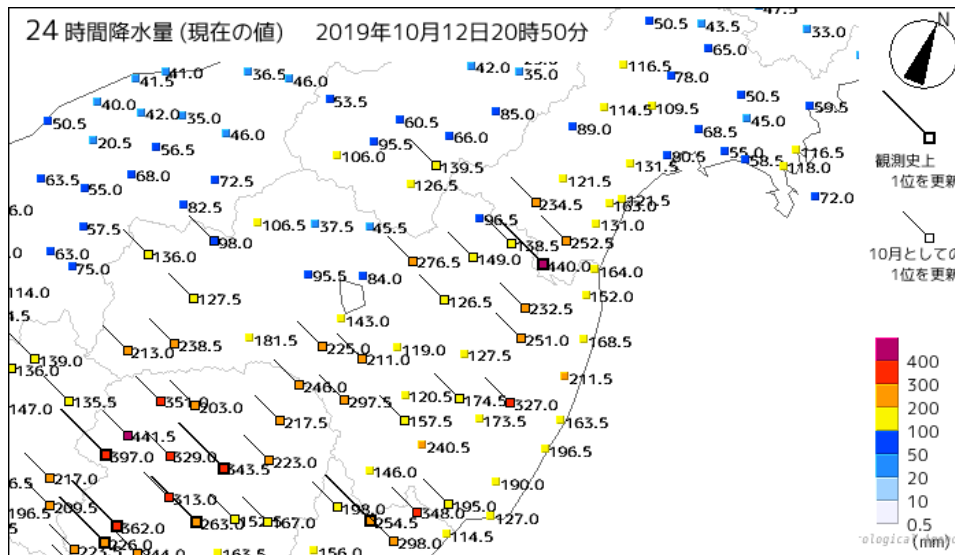
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図：<https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)
(雨雲の動き (高解像度降水ナウキャスト)：<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>)

気象実況(降水量)

10月12日
21時時点の資料



3時間降水量の 日最大値

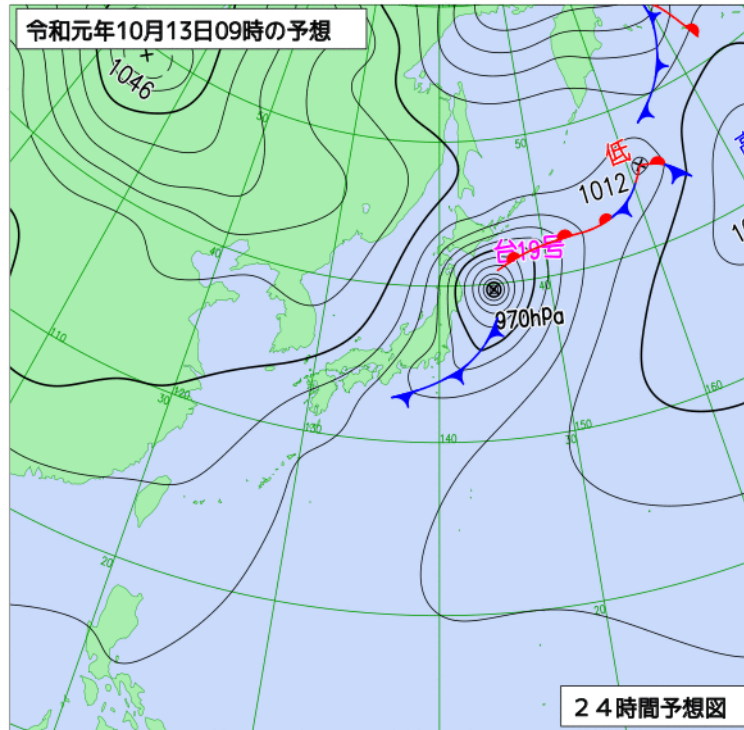


24時間降水量の 日最大値

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(最新の観測データ：https://www.data.ima.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html)

今後の見通し

10月12日
21時時点の資料



宮城県と福島県では、非常に激しい雨が降っており、土砂災害や洪水の危険度が高まっています。13日明け方まで非常に激しい雨が降り、さらに危険度が高まる見込みです。

12日21時から13日21時までに予想される
24時間雨量(多い所)

宮城県	250ミリ
福島県	200ミリ
山形県	200ミリ
岩手県	300ミリ

予想天気図 (10月13日9時予想)

雨量の見通し

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(予想天気図: <https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)

(気象情報(雨の見通しなど): <https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>)

今後の見通し

10月12日
21時時点の資料

【暴風と高波の見通し】

13日明け方にかけて、東北地方の太平洋側で猛烈な風が吹き、記録的な暴風となるところもある。また、太平洋側では、猛烈なしけが続く。

量的予報

13日までに予想される最大風速（最大瞬間風速）

福島県と宮城県	海上	35メートル（50メートル）
	陸上	25メートル（35メートル）

13日までに予想される波の高さ（最大）

福島県	11メートル
宮城県	10メートル

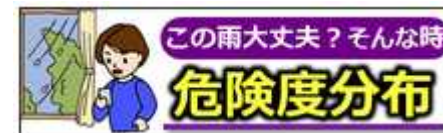
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

（気象情報（雨の見通しなど）：<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>）

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 気象警報・注意報(大雨、洪水、暴風(雪)、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける)
<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

- 危険度分布(どこで土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示)
土砂災害 <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
浸水害 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
洪水 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



気象庁HPのバナーをご利用ください。

- 各地の気象情報(気象概況や大雨の見通し)
<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>

- 台風情報(台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し)
<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>
https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html

- 指定河川洪水予報(国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測)
<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>

- 土砂災害警戒情報(命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける)
<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

- 最新の気象データ(雨雲の動き、レーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻)、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像)
<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>
<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>
<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>

(本報道発表に関するお問い合わせ)

仙台管区気象台気象防災部予報課 022-297-8103

大雨特別警報の「位置づけ・役割」

位置づけ・役割

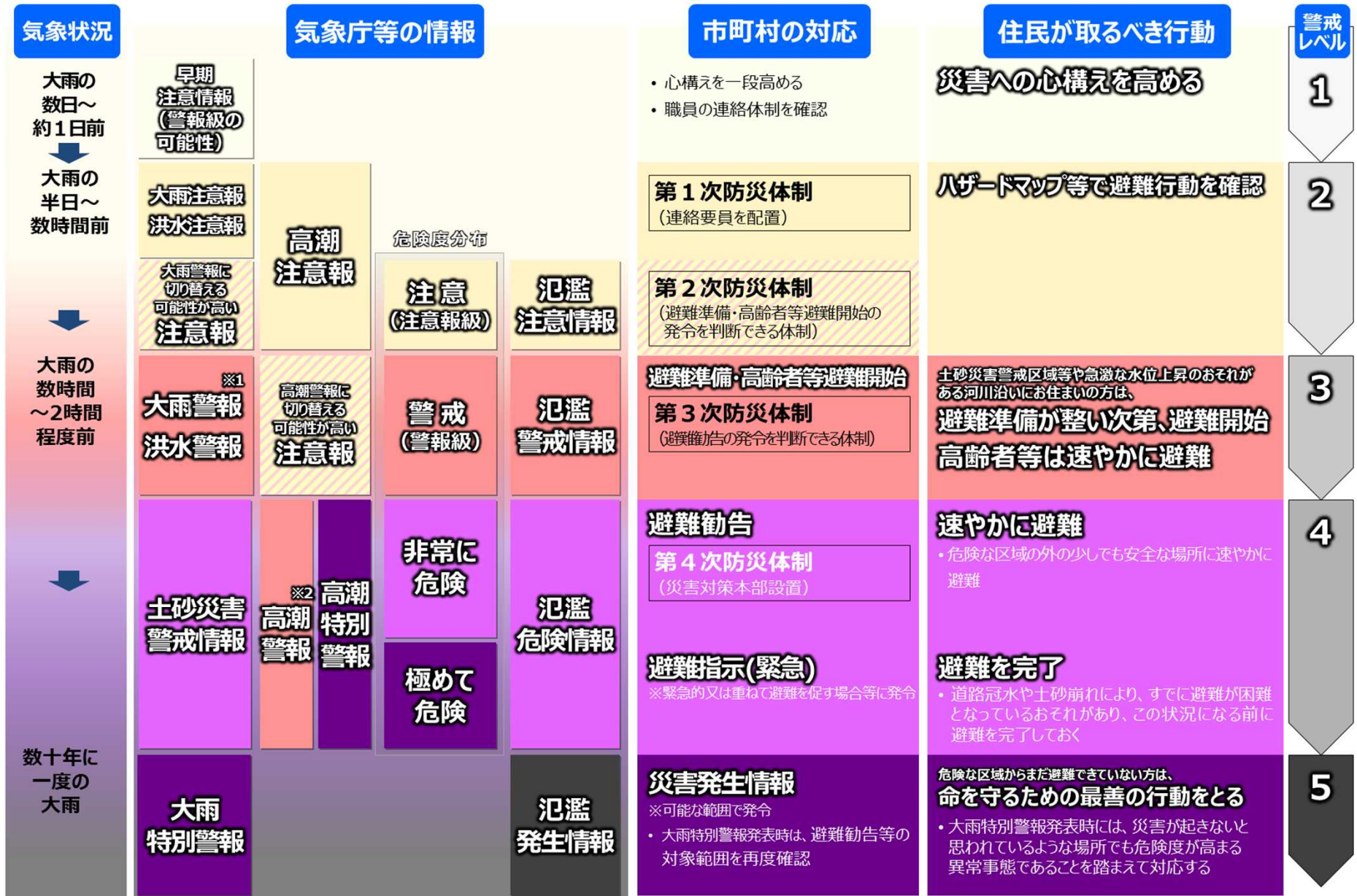
<位置づけ>

大雨特別警報は、避難勧告や避難指示（緊急）に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

<役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

(参考) 段階的に発表される防災気象情報の活用例



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。